

会 議 録

会議の名称	平成25年度第5回川越市事業評価外部会議
開催日時	平成25年11月8日(土) 18時00分 開会 ・ 20時55分 閉会
開催場所	市役所7A会議室
議長氏名	石川 久(淑徳大学教授)【評価人リーダー】
出席者氏名	<p>【外部評価人】 別添名簿のとおり</p> <p>【こども育成課(1事業目)】 石川 昭広(課長)、野村 哲(副課長) 岡安 学(主査)、岩間 弘樹(主任)</p> <p>【観光課(2事業目)】 田中 三喜雄(課長)、杉本 弘(副課長) 長谷川 伸一(川越まつり会館館長)</p>
欠席者氏名	なし
事務局職員職氏名	<p>齊藤 洋一(政策財政部参事兼行政改革推進課長)</p> <p>山田 幹夫(行政改革推進課副課長)</p> <p>佐々木 亮(行政改革推進課主事)</p>
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 外部評価人紹介</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 1事業目の外部評価</p> <p>(2) 2事業目の外部評価</p> <p>4 閉 会</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の基本資料 【別紙1】 ・ 事業資料(1. ファミリー・サポート・センター事業)【別紙2】 ・ 事業資料(2. 川越まつり会館運営管理) 【別紙3】 ・ (参考) 事務事業評価シートの見方 【別紙4】

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リダー	<p>1 開 会</p> <p>2 外部評価人紹介</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 1 事業目の外部評価</p> <p>【対象事業：「ファミリー・サポート・センター事業」(こども未来部 こども育成課)】</p> <p>それでは、議事を進めてまいります。まず、全体の流れでございますが、初めに担当課から事業の概要を 10 分程度で説明していただきます。そのあと、評価人からの質疑とそれに対する応答、議論がありまして、それが終わりましたら評価人が採点シート、意見シートに記入し、発表するという流れになっております。</p> <p>では早速ですが、事業の概要の説明をお願いいたします。</p> <p>事業概要の説明</p> <p>事業概要について説明(こども育成課長)</p> <p>質疑応答・議論</p>
評価人リダー	<p>それでは、説明が終わりましたので、これから質疑に入りたいと思います。質問等のある評価人の方は、お願いします。</p>
外部評価人	<p>まず確認だけなんですけど、こちらの事業は「仕事と家庭の両立を支援する」ということを目的として実施されている事業という理解でよろしいですね。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
こども育成課 長	はい。
外部評価人	<p>では、それを確認した上でお伺いしたいんですが、担当課さんの方では課題を3点、料金設定と車での送迎、緊急連絡体制について挙げられていましたけれども、私からは料金の件についてお伺いしたいと思います。</p> <p>一時間あたり800円というのは、認識されているとおり、県内では高めの部類に入るかと思えます。そこで、なぜ800円という設定になったのかについてまずお伺いしたいと思います。</p>
こども育成課 担当	<p>一時間あたり800円という金額の設定根拠についてですが、この料金体系については、事業を開始した平成15年度当時から変わっておりません。当時、仕事と家庭の両立ということを目的に、当時の担当課でありました商工振興課で、事前に保育園の保護者などを対象にアンケート調査を実施し、その中で妥当な料金についての質問項目も入れており、その調査結果をもとに設定した金額になります。なお、他市の料金設定についてですが、県内では4市が800円で、全体の87%近くが700円という設定になってはいますが、あとは1時間単位ではなく30分単位で区切っていて、30分で350円としているところもあります。</p>
外部評価人	<p>そういたしますと、ちょうど10年ということもありますが、料金の見直しについては考えておられるのでしょうか。</p>
こども育成課 担当	<p>10年間の間に商工振興課からこども家庭課、保育課と受け継がれてきまして、ここで初めてこども育成課がこの事業を受け持ったんですが、この10年間、このファミリーサポートセンター制度に関するアンケートは全く実施してきませんでした。そのため、こども育成課でアンケートを作成しまして、社会福祉協議会の協力のもと、会員2,030名に対して調査を実施いたしました。その結果が今まとまりつ</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>外部評価人</p> <p>こども育成課 担当</p>	<p>つありますが、この料金に対する考えについて、長時間利用したい方にとっては高い設定になっているようです。しかしながらこの事業は、保育や子育ての様々な支援の中で補いきれない隙間の部分を担っている事業というような位置づけが強く、利用は特に学童の送り迎えが多く、平成 24 年度の全活動回数 7,688 回のうち 6,063 回と、79% 近くがそういった短時間の利用となっております。そうすると、特に提供していただく方（提供会員）の報酬という点で考えたときに、短時間で利用する場合、これが必ずしも高い金額かという議論にもなってくるかと思えます。ただ、やはり県内の平均からすると 100 円高くなっていますので、その点についても 30 分単位での設定も必要ではという議論はございます。県内他市の場合は、午前 7 時から午後 7 時までの実施で一時間あたり 700 円という料金体系が多いです。それに対して川越市は午後 8 時までと、一時間長く実施しているという面があります。また、一時間あたり 800 円と設定している 3 市は、いずれも午後 8 時までやっておりますので、その時間帯の差もあるのかなと思っております。なお、川越市の場合、一時間を超えた場合は 30 分単位で見えておまして、例えば 1 時間 20 分の利用だと 800 円 + 400 円で 1,200 円という料金になります。</p> <p>いくつかお伺いいたしますが、大事なお子さんを預ける依頼会員の方にとっては、お子さんが安全に、気持ちよく過ごせるようにということを中心に希望される場所だと思いますが、提供会員の質についてはどういったチェックがされているのか、それから有資格者がどれだけいるのか、どんな資格をお持ちの方がいらっしゃるのか、あと研修をされているということでしたが、どういった研修が行われているのか。そういった面も含めて社会福祉協議会に委託されているのだと思っておりますが、市でもそういったチェックをするなり、質の面まで見ておられるのかということについてお伺いしたいと思います。</p> <p>この事業において、提供会員さんと依頼会員さんとのトラブルになるところとして、こどもを預かるという面での保育の認識において、</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>提供会員さんと依頼会員さんの間にズレが生じることがあるようなことは聞いております。実際に、資料の「会員別年齢」を見ていただくと、提供会員は60歳代の女性が最も多いという状況です。そのため、自らの子育ては終えて、次の世代の子育てをサポートしたいという志のある方たちが応募されてきています。ただ、そういった土壌はあるんですが、よそのお子さんを預かるということで、研修は実施しております。国の方では、特に講習会の時間というのを規定していません。参考として24時間というのはあるんですが、その24時間というの単なるサポート事業の保育だけではなくて、緊急サポート事業、例えば病児等を扱う場合の講習も多く含まれております。そのため、川越市の場合は、今のところ12時間の講習としております。そのプログラムとしましては、6コマありまして、例えば保育のころについて講師の方に講義いただいたり、こどもの病気、心や身体の発達について医師の方からお話ししていただいたり、あとは乳幼児の生活と育児のポイントについて保育士の方からお話ししていただいたりといったことなどが行われています。</p> <p>また、提供会員さんの資格の保有状況に関しましては、実のところ把握しておりません。面接の際に、アドバイザーさんはそういった情報を得ているかもしれませんが、提供会員さんを募集する際の要件には有資格者であることは謳っておりませんので、把握は出来ていない状況です。</p> <p>わかりました。提供会員の方は様々な動機で申し込まれると思うんですが、パート感覚で、経済的な目的を優先される方も中にはいらっしゃるかもしれません。もちろん、本当にこどもが好きで、地域に貢献したいという思いの方もたくさんいらっしゃると思うんですけれども、そういった意欲的な方は講習会にも熱心に参加されて、良い保育支援をしていただけたらと思うんですが、少し気になるのは、経済的動機が優先している方は、例えば研修にもなかなか参加しなかったり、質的な格差が出てくる恐れがないかなというのを懸念しているのですが、その辺はいかがでしょうか。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
こども育成課 担当	<p>提供会員になるには、最初に 12 時間の講習をすべて受講しなければなりません。ですから、講習は必ずみなさん受講していただいています。それから、提供会員さんを募集する段階では、あえて「有償」ということを全く出しておりません。そのため、応募される方は有償であるということを知らない方がほとんどなのです。なぜそのようにしているのかを社会福祉協議会に聞いてみたところ、有償であることを言ってしまうと、ただいまおっしゃいましたように、お金目当ての方も来てしまうので、ビジネス感覚で取り組まれるのはどうなのかというところがあり、あえて募集の段階では有償であることを示していないとのことでした。</p>
外部評価人	<p>それを聞いて、少しホッとしました。もう一点だけ伺いたいのですが、ひとり親の方も多く利用されているかと思うんですけども、どのくらいかというのは把握されていますか。</p>
こども育成課 担当	<p>昨年度ですと、父子・母子家庭の依頼会員の方が 82 人いらっしゃったんですが、そのうち援助を受けている方は 20 人でした。その他、うつ病、DV 被害者が 4 名いらっしゃいました。最近はこうした父子・母子家庭の方、うつ病の方、DV 被害者の方が少しずつ増えていると聞いております。</p>
外部評価人	<p>この仕組みについてももう少し詳しく伺いたいと思います。市民からすると、ボランティア精神が非常に高く、いい仕組みだなと思います。ただ、民間の企業であったらどうかなという面で、少し厳しいことを言わせてもらうかもしれませんが、ご了承ください。この事業は、市が社会福祉協議会に委託契約しているということですね。そして、社会福祉協議会にアドバイザーがいて、依頼会員と提供会員がいるということですが、登録している会員というのは、立ち位置が非常にファジーなんですよね。民間で言えば、契約といたらそこに法律的な責任が出てくるわけです。しかしながら、これについては組織だったも</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
こども育成課 担当	<p>のがどこにもないんですね。そうでありながら、事故があったときの保険の問題ですとか、そういったことがトラブルの原因になるということですが、私は、そのトラブルが起きた時に備えて組織をつくらないと、後々たとえば訴訟になったときなど、市がやっている事業だから市には責任があるわけですよ。運営については社会福祉協議会が担っていますが。その時に、加害者と言ったら少し強すぎますが、事故を起こさせた人が提供会員の中にいるわけですよ。その人の立場と市の立場の関係は、どのような関係になるのか。それと、それを依頼している会員との 2 人の当事者の関係はどのような関係になるのか。この辺のところを教えてくださいと思います。</p> <p>この事業は、平成 12 年に仕事と家庭の両立支援を目的に、ファミリーサポートセンター 育児と介護の 2 つの事業ができていたんですが、その当時、厚生労働省がこのセンターの運営支援にあたって、財団法人の女性労働協会というところに委託しています。その女性労働協会がある程度ノウハウを持っていて、自治体に指導してきたという経過があるんですけども、この事業の国の要綱を見ますと、「会員間で行う相互援助活動」と謳っているなかに、「会員間で行う相互援助活動は、こどもの預かり等の援助を行いたいものと援助を受けたいものの請負または準委任契約に基づくものである」と定められております。「請負」というのは仕事が完成したことに對して報酬を支払うことで、それに対して「準委任契約」というのは、完成してなくても仕事を引き受けた時点で報酬が出るということです。それで、女性労働協会の見解としては、このファミリーサポートセンターは「準委任契約」であるということを言っています。ですから、基本的にこれは、会員間の相互の準委任契約に基づいてやっている事業というところからいうと、専門の弁護士さんの見解では、法的には何か事故があった場合は、その当事者同士の責任になってしまうという見解があるようです。平成 22 年に、大阪の八尾市で赤ちゃんの重篤事故がありまして、預けた依頼会員さんの方としては、こういった契約のシステムを全く知らない。市がやっている事業だから、市に責任があるので</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リダー	<p>はないかということで問題になっています。女性労働協会でも、会員同士の問題だからといって、責任をすべてそこに押し付けてしまっているのかと、行政にも社会的、道義的責任があるのではないかと、そういった議論が出てきているようです。そこで、女性労働協会では今、リスクマネジメントの強化ということで、様々な研修会を開催し、とにかく事故が起こらないように、未然に防いでいこうとしています。当然、行政は全く責任を負わないということもないだろうということで、そういったところについては今後どうしていったらいいかという部分は、まだ検討されているところです。川越市でも、提供会員さんと依頼会員さんに、事故があった時には当事者同士の責任ですよということはあまり伝えておりません。伝えると、登録する人がほとんどいなくなってしまうことが懸念されるためです。ただ、担当としては、本当にそれは伝えておかなくていいのかという疑問は持っています。</p> <p>ちょっとすみません。関連してなんですが、パンフレットに「センターが把握していない援助活動は、保険の対象になりません。」とあるんですが、ここでいう保険とはどういうものなんでしょうか。</p>
こども育成課 課長	<p>保険につきましては、あくまでも車などではなく、その八尾市で起こったような事故の場合の保険で、入院保険や手術の際の保険、通院保険、あと、最悪亡くなってしまった場合や、高度障害の保険もあります。</p>
評価人リダー	<p>加入先は全社協ですか。</p>
こども育成課 担当	<p>加入先は女性労働協会になります。</p>
外部評価人	<p>ちょうど私も同じことを聞こうと思っていたんですが、ただいま保険のご説明をいただきました。ただ、その割に収支決算書を見ますと、約 1200 万円の委託料のうち、保険料は 50 万円弱ですよ。こども</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
こども育成課 担当	<p>が万が一亡くなったとか、そういった場合の損害賠償金額は、億を超えるという場合もあり得るわけですよ。そういったことから考えると、この事業を市と社会福祉協議会でやっているというのは、非常にリスクが大きいのではないかなということに危惧しておりますが、これについては市のご判断になるので特に伺いません。</p> <p>違う件で質問ですが、この事業を例えば一つの民間企業で考えると、人材派遣会社のシステムによく似ているなど思っています。派遣社員さんを登録で雇っておいて、派遣先が出てきたらその人を派遣して、派遣先から資金をもらって、派遣社員に給料を払っているというような仕組みです。この仕組みは、依頼会員と提供会員の間で報酬のやり取りがあるといったことで、先ほど一時間あたり 800 円という説明がありましたけれども、これを企業としてやったら、社会福祉協議会への委託料 1200 万円も当然、会社が派遣している経費として考えられるわけですね。ということは、これを民間の企業でやるとしたら、とても 800 円では話にならないというのが実態ですよ。その 1200 万円分、損失が出てしまうということになりますね。そうすると、一時間あたり 800 円という料金設定では安すぎるのではないかと私は思うわけです。もう少し突っ込んで考えると、例えば報酬ということで考えた場合、依頼会員から提供会員に払うのが一時間あたり 800 円だと考えると、これを賃金だとすると、今、埼玉県の最低賃金は一時間あたり 785 円なんです。この料金設定を見直して 700 円、600 円にした場合、よほどのボランティア精神がある方でないと、賛同していただけないと考えられます。そうすると、この登録会員の数を見ればわかるとおり、なかなか提供会員が集まってこないということであれば、会員の希望を充足できるような仕組みに変えていかないと増えていかないのではないかと思います。そういったことを考える余地はあるのでしょうか。</p> <p>今回実施したアンケートで料金のことについてもお尋ねしたんですが、依頼会員さん、提供会員さん、どちらも半数以上が妥当だと回答されています。そのため、皆さんある程度この料金設定に納得して</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
こども育成課 長	<p>いただいております。ただ、先ほど申しましたように、長時間利用された方にとってこの金額設定が良いかどうかというところなのですが、長時間利用される方の受け皿が他にあればいいんですが、一時保育やトワイライトステイ事業などあるものの、そういった他の事業から漏れてしまう人もいらっしゃいますので、長時間の利用者に対してどういう料金設定をすればよいかというのは考えていく必要があるかと思っております。</p> <p>民間ではとてもやっていけないというお話でしたが、実際に委託している社会福祉協議会にとりましても、利益が出ている部分は一切ありません。そのため、おっしゃるとおり民間でやるならばとても成り立たない事業だと思われます。</p>
外部評価人	<p>先程のお話の中で少し疑問に思ったんですが、社会福祉協議会の方で提供会員の募集をかけるときにはボランティアとして募集しているながら、このファミリーサポートセンターの保険が適用されて、しかも報酬をいただくというのは後出しで教えているというお話でした。確かに、有償だということのを予め出しておくとは経済的目的で来られる方が増えるかと思うので、その点については間違いはないと思うんですが、責任の所在についてはわざと曖昧にしているようにしか見えません。提供会員は、市に、センターに所属して活動していると思っているわけですよね。なんで最初からもっと前面に出していかないのでしょうか。</p>
こども育成課 長	<p>私どもも今年の4月からこの事業を引き継ぎまして、いろいろと疑問点が出てきているのですが、ただいまご指摘いただきました点も然りだと思っております。やはり、リスク関係ははじめにきちっと説明した上で、それを理解していただいて、それでもいいと言っていた上で引き受けていただくという形にならないとおかしいのかなとは感じておりますので、こういった点につきましては、社会福祉協議会の方と調整していきたいと考えております。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>市がやっていることならば市が責任を負うのは当たり前であって、センターで保険に加入しているのならばその保険を使うのも当然のことで、ちゃんとした道筋を立てなければならないと思います。それで、お聞きしたいのは、共働きの方やひとり親の方が対象になっていると思うんですが、実際、対象になりそうな家庭の数がどの程度あるかについては把握されていますか。</p>
こども育成課 担当	<p>そちらにつきましては、把握できていない状況です。</p>
外部評価人	<p>そうすると、会員の数が増えるというのは何となく、感覚的に増えると考えているということでしょうか。どういった方々がどういった目的で利用するのか、利用者の最大数を把握している必要があると思うんですが…。</p>
こども育成課 担当	<p>正確な数値は把握できていないんですが、ご存じのとおり、川越市は待機児童が多いということで、働くお母さんがこどもを預けられないでいる現状があります。そのため、こうした事業のニーズは高まってきていると考えているところです。</p>
外部評価人	<p>確かに、増えているのは間違いないかと思います。ただ、実際に利用されているのは201人ということですが、この数字は少ないと見ていますか、それとも多いと見ていますか。</p>
こども育成課 担当	<p>実利用者数に対しての考え方についてですが、登録してすぐに依頼したいという方ばかりではなくて、セーフティネット的な感覚でとりあえず登録しておいて、いつでも使えるようにしておきたいと考える方が多いので、実際の登録者数と実利用者数というところでは、つながってこない部分がございます。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
外部評価人	では、少ないと見ているということですね。
こども育成課 担当	ただし、この人数が全てというわけではなくて、提供会員さんと依頼会員さんとの条件が合わずに、話が成立しなかったということもありますし、あとは現状として、地域内で徒歩で行ける範囲でしか紹介をしておらず、地域を越えた紹介が出来ていないので、そういう点も数値が伸びてこない要因なのかなと考えております。ただ、国のファミリーサポートセンター事業のコンセプトは「地域において子育てを支援する」となっておりまして、身近なところで家庭なり親子をサポートしてくれる人がいてくれるというのを謳っている部分もありますので、地域を越えて提供会員さんと依頼会員さんを結びつけるということに関しては、議論のあるところかなと思っております。
外部評価人	わかりました。あと2点伺いたいののですが、病児についてはこの事業では扱っていないということでしたが、病児を扱う事業は他にあるのでしょうか。それと職員の人数について、昨年度から0.1人上がっているんですね。その根拠は为什么呢。
こども育成課 担当	まず病児の事業についてですが、病児については、「病児・病後児保育事業」が平成20年度から川越市の愛和病院で開始されまして、現在は三井病院でも委託が始まり、市内の東部と中央部の二か所で事業を実施しております。これは、乳幼児から小学校3年生までを対象に、定員3名で実施しておりまして、時間は午前8時から午後6時までで、1日あたり2,000円となっております。利用者は、川越市に登録をしていただいて、あとは直接病院に申し込んでいただくという形になっております。愛和病院の方は、平成24年度実績で延べ331人利用していて、三井病院の方はもう少し少ない数字になります。 それから、職員数についてですが、この事業は業務委託事業ですので、実務的な部分では市の職員は実際には携わっておりません。
外部評価人	ここまでお話を聞いていて少し疑問に思ったんですが、この事業の

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
こども育成課 長	<p>担当課さんにお聞きすることではないかもしれませんが、基本的に送り迎えが中心になっていて、それでいて地域内で、徒歩の範囲でということだと考えると、昔のご近所付き合いのような、何かそういった基盤をつくるようなことの方が大切ではないかなと思いました。ビジネスのような形になっていて、でもそうであるにもかかわらず責任の所在をあいまいにしたままで、実際には何かあったら当事者同士の責任ですよということになっています。それよりも、市としてはもう少し基本的な部分の、基盤となるような仕組みをつくって、知っている人に安心して預けられるようにしてあげるなど、そういった仕組みづくりにお金を使ったらどうかなと思うんですが、いかがでしょうか。</p> <p>おっしゃるとおりだと思います。今、本当に隣近所との付き合いがなくて、先程も隣の課の課長と話していたんですが、我々がこどもの頃はこういう時代ではなくて、隣近所でこどもを預けあうような付き合いがありました。今はそういったことが非常に少ない時代になってきていますので、川越市としても、市全体の組織として「川越市青少年を育てる市民会議」というのがございまして、地域でこどもを見守ってあげましょうという形でやっており、そういった市民会議自体に補助金を出して、地域でのパトロールだとか、そういった活動をしていただいています。</p>
外部評価人	<p>評価シートのコストのところ、国県支出金が毎年 600 万円程度計上されているようですが、これは「事業の概要」欄に記載されている「仕事と家庭両立支援特別援助事業」に対する補助金という理解でよろしいでしょうか。</p>
こども育成課 長	<p>名称的には、今年度からは県の「安心こども基金」に財源が移ったのですが、昨年度までは国からの補助金でして、事業費の 2 分の 1 は補助がいただけることになっております。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
外部評価人	それは、補助金が切り替わったという理解でよろしいでしょうか。
こども育成課 長	はい。国の補助金から県の補助金に、今年度から切り替わっています。
外部評価人	その「安心こども基金」というのは、従来の「仕事と家庭両立支援特別援助事業」とは全く別枠という理解でよろしいですか。
こども育成課 長	はい。
評価人リダ -	<p>それでは、おおよそいい時間になりました。各評価人の皆さんにおかれましては、まずは採点シートを作成していただき、終わりましたら続いて意見シートに付帯意見を記入してください。</p> <p>評価結果発表</p>
評価人リダ -	それでは、各評価人から簡単に講評をお願いしたいと思います。では、最初の評価人の方からお願いします。
外部評価人	<p>はい。私は、まず時代適合性は5点としました。こういった事業は、近隣の方たちとのつながりがなくなった現代においては必要となる事業だと思っておりますので、高くしています。続いて補完性、行政が実施する必要はあるかということですが、これは4点です。民間が本来やるべき内容も含まれているかなと思うんですけども、ただ、それは費用の面で難しいということもあるので、4点としました。続いて効率性、最小の経費で最大の効果が上げられているかということですが、これは単純に1200万円という事業費を見てなんですけど、実際に利用した人数が201人ということで、効率は悪いのかなと思ってしまっんですけども、それでも登録者の数は多いと思っておりますので、4点</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
評価人リーダー	<p>としました。次に有効性、目的に合致した成果を挙げられているかということですが、目的にはまだまだ合致できていないんじゃないかなというところですか。支援していこうという意はよくわかるんですが、責任の所在がはっきりしていないですね。責任の所在、立ち位置を明確にしてあげないと、協力したくても協力できないし、依頼する側も躊躇してしまうと思います。ただ、先ほど他の事業から漏れてしまう隙間の部分を埋めている事業だというお話もありましたので、ぜひ料金の面とか、車での送迎とか、もう少しフレキシブルな発想を持ってやっていただきたいなと思います。利用しづらい仕組みだと、どうしたって利用する人は少なくなってしまう。ぜひ利用しやすい仕組みをつくっていただきたいと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。では次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私が一番低い点数となりました。これは、行政に対しての得点というふうに見ていただきたいと思います。まず、時代適合性については4点、補完性については3点と、低めにつけてあります。この事業の活動内容を見ると、保育所・幼稚園への登園前の預かり、保育所・幼稚園への送り、保育所・幼稚園からの迎え、保育所・幼稚園からの帰宅後の預かりというのが目につきます。この4点に関しては、保育所と幼稚園の問題が改善できれば、隙間はなくなるんです。このところを行政が変えていくべきではないかと、そういう意味でこの点数なんです。それができればこのファミリーサポートセンター事業はもっと効率的に運営できるはずで、この他についてもみんな同じなんです。学童保育終了後の迎え、預かりということについても、現地でそれがカバーできれば、そもそも隙間が発生しないんですよ。そのため、この時代適合性、補完性については低く評価されるべきだと思います。次に効率性ですが、そもそも効率性を求めるべき事業ではないと思いますので、3点としています。続いて有効性ですが、本来の目的というのは、初めにあったように「仕事と家庭の両立支援」ということですから、これに対してカバーが出来ているかということ、活動</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
評価人リーダー	<p>内容から見て必ずしもそうとは言えないと思います。最後、方針妥当性についてですが、何も記されてなくただ現状のまま継続となっておりますが、どう考えても改善する必要がありますよ、これは。先程あったような、事故があった時の対処をもう一度見直すとか、そういったことからもう一回再構築することが必要だと思いますし、提供会員を増やすための施策も検討する必要があると思いますので、有効性、方針妥当性については、少々厳しいですがともに2点としました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。それでは次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私は時代適合性が5点、補完性5点、効率性3点、有効性3点、方針妥当性3点としていますが、この採点に縛られずお話しさせていただきたいと思います。この制度は少子化対策の流れでできているものであって、安心して子供を育てていけるようなニーズは非常に高いものがあり、そして、各家族ではそれは個人的に頼ってできることではありません。そしてこれは児童福祉政策であり社会保障政策であるということから言いますと、ビジネスとしてペイできるものでは決してないということです。そして、そこには行政責任がしっかりとベースになければならないということです。委託するのはいいんですが、その内容に行政は責任を持たなければいけないと思うんですね。委託先が社会福祉の専門機関である社会福祉協議会というのは適切であると私は思いますが、気になりますのは、ファミリーサポートセンターの担当者はみな非常勤の職員ですよ。そして、専任の責任者はいないと。責任者はセンター長になるわけですからね。そうすると、本当に責任をとれる人はどこにいるのかという点で、大変心もとないと感じます。基本的には行政がしっかり責任を負うという腹を括っていただきたいという思いがあります。なぜならば、この事業は幼い子どもを扱うもので、場合によっては非常にリスクの高い事業、危険性を伴う事業であるということ、子どもたちの命や健康というものを保証する最大限の努力は、やはり行政責任のもとで行われるべきだと</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p> 思います。その仕組みとか質の問題については、もう少し踏み込んで考えていかなければなりません。今年になって初めてアンケートをとられたというのは、あまりにも遅いのではないかと思います。意見箱の設置など、なるべく会員の声をこまめに聞いていく仕組みをとりいれるべきで、そして、それは社会福祉協議会に丸投げではなくて、最終責任は行政にあるというところで、しっかりと連携をとってやっていっていただきたいと思います。そういう意味では、行政自ら行う責任があるものの、それが十分効果的に行われているとは思えないというところでは、ニーズは計り知れないほどあると思うんですが、利用者数は伸びていません。全部引き受けることは出来ないと思うんですけども、もう少し伸びていてもいいのかなと思うんですね。依頼会員の数も提供会員の数も伸びないというのは、利用しにくさがあるためだということです。依頼会員にとっては、料金の問題がまず一つあると思います。利用する人たちの階層というのは様々だと思うんです。一般世帯ですと、平均所得が500万円～600万円というところだと思うんですけども、父子世帯では300万円程度、母子世帯になりますとその半分程度です。そういう人たちにとって非常にニーズの高いサービスなんです。働きながら子育てをするのに、保育所だけでは足りないという切実なニーズがあるはずなんです。そういった人たちにとっては、800円というのはやはり高いと思います。そして、週回と継続的に利用していくと、とても払いきれないという状況になるのではないのでしょうか。そのため、減免制度を取り入れるなど、利用しやすい制度にしていく必要があると思います。また、そもそも1時間あたり800円というのは他市に比べて高いので、基本料金も下げているのではないかと思います。また、送り迎えで30分もかからないくらいの利用についても同じく1時間分の800円を取られるとなると、やはり利用をためらってしまうのではないのでしょうか。ですから、30分単位の区分を導入することも必要だと思います。それから、提供会員が伸びないというのは、どこの町でも同じような状況です。「有償ボランティア」というのは、1970年代ごろに武蔵野市の介護制度でスタートして、生まれた言葉です。これもニーズが大きくなるに伴い、 </p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
評価人リダ -	<p>介護保険の方に制度化していきました。そういうことで、なるべく提供会員について、意欲の高い人にどう定着してもらって、継続していただくかということに関しては、提供会員間にも交流の機会をつくる とか、意欲を高めるような工夫が必要ではないかと思います。また、車の利用についても今の時代のニーズだと思いますので、積極的に検討していただいた方がいいかなと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。では次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私の採点は、上から 5 点、5 点、3 点、4 点、3 点としました。時代適合性、補完性については 5 点としましたが、先ほど他の評価人の方からもありましたけれども、本質的に保育所を補完する仕事なので、そこを解決すればいい話だとは思いますが、解決できないようであればやらざるを得ないなと考えました。現状では仕方がないということです。効率性については、提供会員と依頼会員とのつながぎをするということについて、その関係づくりがうまくできているのかなと少し疑問です。料金設定の問題とか、責任の問題とか、ミスマッチがあるのかなと思うので、その辺については改善が必要だと思います。それから、有効性についても同じで、基本的な目的を考えたときに、行政が関わっているのに最後は個人の責任になるということで、本当に本来の有効性があるのだろうかという疑問があります。そういったことを踏まえると、今後の方針については、担当課だけで考えるのは難しいかもしれませんが、もっと大きな意味で子育て支援をする仕組みづくりが必要ではないかなと考えます。以上です。</p>
評価人リダ -	<p>ありがとうございました。それでは次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私の採点ですが、上から 5 点、4 点、4 点、4 点、4 点の合計 21 点とさせていただきます。比較的高い点数だと思いますけれども、予め申し上げてきますと、基本的にこの場は事務事業の評価について外部から見たらどうかということの評価する場ですので、</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>少しドライな観点からコメントさせていただきたいと思います。まず最初の質問でこの事業の目的が「仕事と家庭の両立支援」であることを確認させていただきましたが、現時点でうつ病やDV被害者の相談が増えているということであれば、あえて「仕事と家庭の両立支援」ということにこだわらなくてもよいのではないかなと思ったんですね。実際、最後にお伺いしたとおり、国・県補助の態様も変わっておられるようなので、「仕事と家庭の両立支援」という看板をずっと掲げ続ける必要もないだろうと思います。そういった別の相談が増えてきているということであれば、なおのこともう少しフレキシブルにこの事業の方向性を考えてもよいのではないかなと考えます。そういった観点から各評価項目を見ると、まず時代適合性については良いと思います。必要だと思います。ただ、補完性に関しては、効率性、方針妥当性とも関連してくるんですが、先程、担当課さんの方から「民間では困難」というお話がありましたけれども、果たして本当にそうかな、と思います。特に、担当課さんもお認めになっているとおり、車での送迎ですとか、地域の枠を越えた提供会員、依頼会員間の結び付けなど、そういった弱点があるのであれば、民間であればそういったところに手を出してくる可能性がゼロではないと思うんですね。もちろん、同じ値段でできるとは思いません。ただ、こういったことをやってもらいたいという人からしたら、多少高くてもお願いしたいということもあるかと思います。その場合には、市として、行政として、この子育てをサポートしていくという事業について、どういう立ち位置であるべきなのかということは当然考えるべきだと思います。ですから、有効性と方針妥当性についても少し下げて、4点とさせていただきました。効率性についてもほぼ同様の観点から4点とさせていただいているわけなんですけど、個人的には、料金については先程ご説明がありましたけれども、そういうことであれば敢えていじる必要もないのかな、と。但し、それについては個人的な考えなので何とも言えませんけど...。ただ、先程から申し上げているとおり、自分たちが弱いと考えている部分が確実にあるのであれば、それをどういうふう処理していくのかということを考えることが重要だと思います。つま</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>評価人リダ -</p>	<p>り、「これについては行政では難しいから...」と置いて放置しておいてよいのか、別の策は考えられないのか、と。とりわけ、補助金をとることについても、他のところから補助事業を引っ張ってこられるかもしれない。そういったところもひっくるめて、ご検討いただければと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>最後に私からですが、まず採点結果については、上から5点、5点、4点、4点、4点となりました。とにかくこういう事業評価になりますと、事業評価の枠を越えて本来の保育の在り方に言及しがちになりますが、私はこのファミリーサポートセンターというものは、もともと調整人を核として、そこに提供会員と依頼会員が寄ってきて、お互いのマッチングのもとに成立している事業だというふうに考えています。これが本来のファミリーサポートセンターの事業なんです。それをもっと拡充する、しないというのは市の姿勢でもあるし、国の考え方にもよるわけです。少し話を広げますと、今、日本ではこどもが減ってきています。ヨーロッパでもそうでしたけれども、フランスでは「保育と教育に関してはタダにする」ということを国の方針として決めて、取り組んできました。それから、婚外子についても法律上全く同じ地位を与えることとして取り組んできました。その結果、今日、出生率は2.0を超えています。つまり、人口が維持できるということになります。こうしたことを考えると、間違いなく、保育というのは国の責任であり、市の責任であるというふうに思います。ですから、本来的には保育の充実をしていくということになるわけですが、それは本来的な在り方で、川越市だけで出来るわけではありません。やはり、現状で考えるならば、その隙間を埋めていくという事業は市としてやらなければなりません。それは、委託の形でいいんだと私は思います。社会福祉協議会に委託するという事は良いと思います。ただ、先程お話があったように、そこに市がどのように関わり適切に運営していくかということはきちんと担保してほしいと思います。それから、保険の加入があるならば、それはきちんと説明をして、やる人に</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
評価人リーダー	<p>も安心感を持ってもらったらどうか。心配が先に立つと、行政は何もしないことが一番いいということになってしまいます。そんなことでは、いま困っている人たちの心配を埋めることはできないと思います。以上のようなことを踏まえ、私は比較的高い評価となりました。</p> <p>さて、全体の評価ですが、評価人全員の採点結果を合計し 100 点満点に換算すると、64 点ということになりました。これは「B. 事業の在り方は概ね妥当である」という評価になります。どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">- 休憩 -</p> <p>3 議 事 (2) 2 事業目の外部評価 【対象事業：「川越まつり会館運営管理」(産業観光部 観光課)】</p>
評価人リーダー	<p>それでは、「川越まつり会館運営管理」につきまして評価してまいりたいと思います。最初に担当の方から 10 分程度で事業概要の説明をお願いいたします</p> <p style="text-align: center;">事業概要の説明</p> <p style="text-align: center;">事業概要について説明(川越まつり会館館長)</p> <p style="text-align: center;">質疑応答・議論</p>
評価人リーダー	<p>それでは、質問等のある評価人の方は、お願いいたします。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
外部評価人	<p>まず、わからないことが一点あるので教えていただきたいんですが、資料の「川越まつり会館アンケート集計」の中の「Q4. 当館は、何でお知りになりましたか？」の結果について、半数以上が「その他」になっていますが、その内訳がわかりましたら大体で構いませんのでお願いします。</p>
まつり会館 館長	<p>はっきりとはわかりませんので私の予想で述べさせていただきますが、全体の回答数が113人ですので、しっかりと把握できているかはわかりませんが、主にこういったアンケートに答えてくださるのはそこその年齢の方で、パッケージのツアーで来られる方が結構いらっしゃると思いますので、日帰りのツアーなどに参加してお見えになった方ということになるのかなと思います。</p>
外部評価人	<p>ありがとうございます。では別の質問ですが、川越まつり会館は直営で運営されているということですが、資料の「他市類似施設状況調査報告書」を拝見いたしますと、他市は直営が多いというわけではないですね。やはり委託、指定管理、あるいは民間ということも考えられると思うんですが、現在のところ、管理形態を変更する心づもりはあるのでしょうか。</p>
まつり会館 館長	<p>少なくとも平成26年度については、現状と同じ形で予算要求もしております。</p>
観光課長	<p>補足ですが、川越市には29台の山車がございまして、川越まつり会館には全部の山車が出ているわけではありませんが、本物の山車をローテーションで出しております。その中には市、県の文化財の指定を受けている山車もございまして、そういった山車については、市に対してだから出すという意見もございまして、市の直営だからということですが、もし指定管理になった場合はということも聞いてはいるんですが、絶対だというわけではありませんけれども、出来れば市の直営</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>の方が安心して出せるというお言葉をいただいておりますので、今現在どちらの方向に進むかというのは決まっております。</p> <p>評価シートの5 - (1)「現在の課題と状況」の中に「年々修繕が必要な箇所が増えており」とありますが、そうなることは建てた時からわかっているわけですね。民間企業の場合ですと、減価償却ということで、その分の資金をプールしておくものですが、公会計の場合には、現在の制度ではそういったものはないという部分もあると思うんですが、資料の「年度別 / 節別 対比表」を見ると、毎年度とも支出額が予算額を下回っているわけですね。ということ考えると、例えば予算の項目の中に「修繕積立金」といったような項目を入れることはできないのでしょうか。</p>
まつり会館 館長	<p>修繕のための基金のようなことができるのかはわかりません。</p>
評価人リダー	<p>今のところ、担当課としてはそういった考えはないということですね。</p>
観光課長	<p>はい。</p>
外部評価人	<p>資料の「各節の事業費」を見ると、平成 24 年度の支出額は合計で約 6,000 万円になっていますが、そのうちの約 2/3 が委託料に消えてしまっています。委託料の中身を見ますと、解説員、清掃、設備管理等業務委託となっていますが、支出のうちの大半が委託ということになっているのであれば、ある意味直営でなく委託にしてもよいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
まつり会館 館長	<p>経費だけを見ますと全くおっしゃるとおりなんですけど、先程お話しさせていただきましたように、山車を展示に出していただいている長の方とお話をした際、やはり最低限市が関わっていないと...というこ</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
外部評価人	<p>とを言われています。また、市の職員は私一人しかいないんですが、市の職員もいないよりは一人くらいはいた方がいいというお話もいただいております。</p> <p>あと、例えば川越市にはいろんな鉄道も通っていますが、委託をすればその鉄道会社の売り込みの一つとして川越市の観光の中にまつり会館を織り込んでもらえるとか、そういった別の面でも効果を望めるのではないかと思うんですが、委託先も考えれば入館促進が図られると思うんですが、その辺のところはいかがお考えでしょうか。</p>
観光課長	<p>確かにおっしゃるとおりなんですけど、先ほど申し上げましたように、山車は明治の初期からある大事な山車ですので、その辺をある程度わかって扱っていただかないとという部分がありますので、どこでもというわけにはなかなかいかないのかなという思いはございます。</p>
外部評価人	<p>川越まつり会館は、基本的には川越まつりのPRのための建物というふうに理解すればよろしいですか。</p>
観光課長	<p>本物の山車が飾ってありますので、そういうことになります。</p>
外部評価人	<p>資料の「各節の事業費」の内訳についてなんですが、まずは報償金の1,576,000円の内訳を教えてくださいと思います。あと光熱水費の内訳について、これはたぶん電気代が一番大きいと思うんですが、いくらでしょうか。それから資料の「川越まつり会館 入館促進事業等の実施状況」のうち、23年度の実施内容に「小学校が総合学習で入館」とありますが、たぶん今でもこれはやられているのではないかと思います。昨年度の該当者の人数は何人でしょうか。</p>
まつり会館館長	<p>まず報償費についてですが、主には週1回日曜日または祝日に、囃子連の方に実演をしていただいています。それに対する謝礼になり</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>ます。金額は、一回来ていただくにつき2万円お支払いしてまして、それが67回ありましたので合計で134万円になります。あとは山車を展示していただいた方に対して、謝礼という形で2万円をそれぞれにお支払いしているのと、それと川越まつりの運営委員会がございまして、そちらへの謝金と、あと「川越まつり写真コンクール」というのがあるんですが、そちらの審査員さんへの謝礼になります。</p> <p>2点目のご質問、光熱水費の内訳についてですが、電気代が920万2千円、ガス代が65万8千円、上下水道料金が152万円で、合計で概ね1138万円となっております。電気代とガス代が普通の施設に比べて高いのは、ガスをヒートポンプという形の空調で運転しているため、なおかつ山車を展示しているケースにつきましては、24時間中22～60%にしておくという決まりがございまして、山車は一年を通じて常時2台展示しているんですが、4月から10月にかけては県の文化財の山車を入れていきますので、その際は空調の状態の指定がありますので、それに合わせて24時間運転しています。</p> <p>3点目のご質問、小学校の総合学習での入館者数は、12,280名でございます。</p> <p>今のお答えですと、囃子連に1回あたり2万円払っているということでしたが、これは何人来ようと2万円ということになるかと思えますけれども、これについては何か取り決めがあってそうされているのでしょうか。例えばですが、金額の変更などは可能なのでしょうか。</p> <p>それから電気代が920万円ということで、エアコンをずっとつけているというお話でしたが、2年前の原発事故の後、14%程度の値上げになったかと思えます。そうすると、恐らく100万円程度上がっていると思うんですね。エネルギーの削減などは検討されたことはあるのでしょうか。</p>
まつり会館 館長	<p>囃子連の謝金なんですが、10年ほど前の実演を始めていただいた当初から話し合いで決まっていたと思います。特に何か契約を交わしているといったことはありませんが、それがずっと今日まで生きているとい</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>う状態です。</p> <p>電気代につきましては、ただいまご指摘いただいたようなことは、今のところは検討しておりません。太陽光の設備はあるんですが、売電の売り上げは川越市でワースト3に入るほどです。一日中運転しておりますので、発電したものは全部使ってしまうという形になってしまっています。平成24年度では電気の売り上げが140円だったので、近々売電メーターの交換時期が来るんですが、替えるのに5万円くらいかかるため、売電はもうやめる予定です。</p>
外部評価人	<p>市が川越まつりに費用を出すというのは、まつり会館の他にもあるのでしょうか。観光協会など...</p>
観光課長	<p>川越まつりそのものの運営につきましては、川越まつり協賛会というところが行っておりまして、そこから支出しています。</p>
外部評価人	<p>出店などについても、そちらで責任を持ってやっているということですか。</p>
観光課長	<p>はい。</p>
外部評価人	<p>わかりました。あとこちらのまつり会館の入場者数とかそうしたものが、まつりの入込客数に影響を与えているということはあるとお考えでしょうか。要するに、まつり会館の入館者数の増が、川越まつりの入込観光客数の増につながると考えているかどうかという意味です。</p>
観光課長	<p>川越まつりが近づきますと、まつり会館の入場者数も増えてきますし、我々としても多くの方に川越まつりに来ていただくために、いろんなところへPRしにいきます。例えば、最近では横浜の方まで電車がつながりましたのでそちらへ行ったり、遠くは仙台まで行ったりもしました。その際には必ずこちらのまつり会館のパンフレットも配り</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
外部評価人	<p>まして、まつりの見方ですとか、楽しみ方をぜひ学んでいただきたいという形でPRをしておりますので、お互いに相乗効果はあると考えています。</p> <p>それぞれ非常に関連が深いということですね。別の質問ですが、評価シートの3の中の「その他特定財源」について、24年度で1615万円となっておりますが、これはほぼ入館料という理解でよろしいですか。</p>
まつり会館 館長	<p>そうです。</p>
外部評価人	<p>その入館料についてですが、5館券や4館券がありますよね。そうしますと、売上が全部まつり会館に入ってくるというわけではありませんよね。</p>
まつり会館 館長	<p>4館券、5館券については、すべて売った施設での収入とするということになっております。つまり、まつり会館で売ったらすべてまつり会館の収入とする、美術館で売ったらすべて美術館の収入とするといった形になっており、売上を按分したりなどはしていません。</p>
外部評価人	<p>わかりました。あと、資料の「川越まつり会館職員体制」についてですが、観光協会の常勤の方が2名、臨時が1名、館長が1名の合計4名となっておりますけれども、この観光協会の方の人件費というのは、評価シートの「人件費」のところではなく「事業費」のところに入っているのでしょうか。</p>
まつり会館 館長	<p>そのとおりになります。事業費のうちの業務委託料に含まれております。</p>
外部評価人	<p>この観光協会の常勤の方2名というのは、どういうお仕事をされて</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
まつり会館 館長	<p>いるのでしょうか。解説員ということでしょうか。</p> <p>解説員ではありません。市の職員が私一人しかおりませんので、私の仕事を補佐していただくということもありますし、解説員の方や駐車場の方、また館を維持するためにいろんな業者さんも入っておりますので、その連絡調整をしていただいたりとか、あとは展示ホールの手配といたしますか、下交渉もしてもらったりしています。例えば雛子連の実演スケジュールを決めたりとか、山車の入れ替えについても連絡を取りあってもらったりとかしています。</p>
外部評価人	<p>先日、初めて川越まつりを拝見して、とても素晴らしいなと思ったんですが、その際に山車が 29 台あると伺ったんですけれども、それが一台ずつ入れ替えられて展示されるんですか。</p>
まつり会館 館長	<p>常時 2 台展示しているんですが、入れ替えの時期は大体 4 月、6 月、8 月、10 月となっています。冬の間は乾燥しますので、湿度の関係で入れ替えは実施していません。</p>
外部評価人	<p>そのタイミングで一度に 2 台ずつ入れ替えているんですか。</p>
まつり会館 館長	<p>2 台同時に入れ替える場合もあります。先日、川越まつりが終わった後の水曜日は、2 台出して 2 台入れました。また、川越まつりで故障した山車をもってきて、修理のために待機させておく保管庫もあります。</p>
外部評価人	<p>その山車の修理代というのは、この修繕料の中に含まれているんですか。</p>
観光課長	<p>山車の修理代に関しましては、先ほど申しました川越まつり協賛会の方から出しております。まつり会館の修繕料には含まれておりません。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
外部評価人	今のお話の関連でお聞きしたいんですが、業務委託料については全額観光協会さんに支払われているのでしょうか。
まつり会館 館長	全額ではありませんが、常勤の2人と臨時の1人の3人については、観光協会と業務委託契約を結んでおりまして、観光協会にお支払いしております。
外部評価人	観光協会さんに業務委託をしているということですか。
まつり会館 館長	そうです。
外部評価人	他には業務委託をしている委託先はないのでしょうか。
まつり会館 館長	他にもいろいろあります。
外部評価人	観光協会さんへの業務委託は、この職員の分だけということですか。
まつり会館 館長	そのとおりです。
外部評価人	わかりました。あと、評価シートの事業費の部分について、24年度は約6000万円となっているのに対し、25年度では約6500万円に増えているのはなぜですか。それから、特定財源が約1600万円から25年度では約2000万円に増えていますが、その根拠は何ですか。
まつり会館 館長	まず事業費が増えているということですが、逆に平成24年度が減少してしまっていて、それはなぜかと言いますと、一つは業務委託等にあ

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>たって指名競争入札を実施して価格が抑えられたというのと、あとは節電対策で平成 24 年度は開館時間を短くいたしまして、それに伴って委託している方の勤務時間も減りましたので、その分の金額が減ったということもあります。</p> <p>特定財源が増えている根拠ですが、毎年の平均で見積もっておりますので、21 年度の額が多かったことが影響しているのと、また入館者数の増も見込んでの金額になっております。</p>
外部評価人	その入館者数の増の根拠はなんですか。
まつり会館館長	この度、横浜からの直通運転が開始されたことで、現場の実感としてかなり来館者が多くなったと感じるためです。
外部評価人	川越まつりに出てくる山車というのは、普段はまつり会館でしか見られないものなんでしょうか。
まつり会館館長	そうです。
外部評価人	そうしますと、少なくとも山車の現物を見るためにはここに来なければならないというのが今のところの状況だという理解でよろしいですか。
まつり会館館長	現物で、しかもホールに展示してある状態ですと、まつり会館でないと見られません。
評価人リダー	お尋ねしますが、例えば今使用している明かりについて、これは従来型の明かりでしょうか。LED は使用していませんか。
まつり会館館長	LED ではなく、従来型の明かりです。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
評価人リダー	わかりました。実は私もまつり会館のファンでありまして、たまに行っていますので、あとは後ほど結果発表の際に、いくつか感想を述べさせていただきたいと思います。
外部評価人	委託料の約 3900 万円の内訳を教えてください。金額の高い主なものだけで構いません。
まつり会館 館長	まず、シルバー人材センターの解説員の方の分が 756 万円。受付に常時いるシルバー人材センターの 2 名の分が 480 万円。それと先程ありました小江戸川越観光協会に 1288 万円。あと駐車場に 1 人シルバー人材センターの方がいらっしゃいまして、その分で 231 万円。それから清掃につきましては 234 万円。それと空調のコントロールといたしますか、温度・湿度を常時モニターしている委託業者に 247 万円。主なものは以上になります。
評価人リダー	他に質問等ありますか。 無いようですので、評価人の皆さんにおかれましては、まず採点評価を行っていただき、終わりましたら意見シートに付帯意見を記入してください。
	評価結果発表
評価人リダー	それでは、各評価人からコメントをいただきたいと思います。では最初の評価人の方からお願いします。
外部評価人	はい。まず点数ですが、正直ちょっと悩むところもありました。上から順に 3 点、5 点、4 点、4 点、4 点です。特に時代適合性と補完性に関しては少々矛盾するところもあると自分では思っていますが、あえてこういう採点にさせていただきました。と申しますのも、

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>端的に言いますと、今回の事業に関してはまずそもそも「いる」のか、「いない」のかという問題があると考えました。それで、「いる」ということであれば市がやるべきであって、最終的に市自らがやるのが効果的なのか、という段階を踏んで考えました。本当に必要かどうかということ考えた時に、実はなくても大丈夫ではないかという気がしないでもないんですね。ただ、このまつり会館という施設は、特に観光という観点から見た時に非常に大きな位置づけがあります。役に立つかどうかは別にしても、それなりの意味があるものと少なくとも担当課さんでは考えられておられるようです。ただ、先ほど申し上げたとおり、この施設が絶対に必要なのかと考えた時に、なくてもやっていけるのかなと思うんですね。最初の時代適合性、つまり現代社会のニーズに適合しているかということについては、そういう観点から見ると、いるのかもしれないけれど、果たしてそこまでのものだろうかということで3点としました。その代わりといっってはなんですが、あえて補完性を5点として理由について、山車を展示する際に市が相手になければなかなか首を縦に振ってくれないだろうというお話がありました。だとするならば、先程も質問させていただきましたが、現物を間近で見ることができない数少ない施設であること、そして展示するには主体が市でなければならぬということであるならば、これは行政自らが行うべき事業だというふうに考えました。ですから、補完性は5点になったんです。なので、少し相矛盾するところがあるかもしれないんですが、やるべきかどうかは分からないけれども、やるんだったら市でやるべきだよ、という感覚のもとにつけさせていただきました。それから効率性、有効性等々についてなんですが、私個人的には、資料の最後に他市類似施設の統計も出ていますけれども、はっきり言って川越まつり会館は比較的入館料も安価であると思います。ただ、そうであるにしても、年間10万人前後の入館者がいるというのは、正直立派なものだと思っております。実際1600万円前後の入館料収入があるということであれば、それなりに稼ぎ出している施設だと私は考えております。ただ、リピーターがそんなにたくさんつくものではないと思うんですね。そうであるならば、今後</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>のまつり会館の位置づけはどうなるのかということになります。評価シートに記載されておりますけれども、市民の方々に川越まつりの意義だとか、そういったものを理解していただくことが重要な任務であるということですが、これはそのとおりだと私は思っておりますので、恐らく今後はこの辺についてさらに考えていく必要があるんだろうなと思います。また、先程ありましたように、小学校の総合学習で毎年1万人以上来ているということであれば、それはそれなりに意味があると思います。ただ、光熱費などはもう少し抑えられるかもしれないというところもあります。あと方針妥当性についてなんですが、先程から申し上げているとおり、やるのはいいけれども、このままでいいのだろうか。そういうことを常に意識として持っていたきたいと思います。以上です。</p>
評価人リダ -	<p>ありがとうございました。では次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。まず時代適合性ですが、川越市としては重要な位置づけにあるのかなということで5点とさせていただきました。続いて補完性については4点としました。こちらについては、もう少し他にいろんな視点があってもいいかなと思いました。効率性については3点です。入館者数はかなり多いと思いますので、目的としてはある程度達成されているのかなと思います。ただ、効率性ということを見ると、もう少し費用面などで上手いやり方があるのではないかと感じました。ただ、これは直観的なものなので、何とも言えませんが…。有効性については4点としました。川越市の観光にとってみれば、日常的に山車が見られる環境が整備されているということで、その成果は出ているのではないかと思います。最後、方針妥当性については4点。さらにもっと効率性を高めることによって、方針の妥当性ももっと高くなるのかなと考えます。以上です。</p>
評価人リダ -	<p>ありがとうございました。続いて次の方、お願いします。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>はい。私の採点は5点、4点、4点、3点、4点となりました。時代適合性については、伝統文化の継承ということで、観光都市川越の一大イベントを支える会館という意味では、やはり重要な意義を持っていると思います。それから補完性については、かなりの部分が委託で行われているということもわかりましたので、行政自らがしっかりとやっていかなければいけないというわけでもなさそうかなと感じました。民間で、あるいは市民の協力のもとに、分担しながらやっていくという形もあるのではないかと考えました。それから効率性について、こちらは4点なんですけれども、入館料はかなり入ってきていて、今後も伸びていきそうだとということなので、効率性はある程度高めだといえるかと思います。そして、年代を問わず親しんでいただいて、また外の人に向けてまつりの周知を広めていく可能性もあるわけだと思いますが、もう少し工夫の余地はあるのではないかと思います。特に費用面ですね。LEDを取り入れるなど、経費節減の余地はあるかなと思います。そういう意味で有効性については、もう少し工夫の余地があるのではないかという感じがいたしまして、3点としました。方針妥当性について、これは今後も継続していかなければならないと思いますが、改善しながら、民間との関係も工夫しながら進めていく必要があるかなということで4点としました。以上です。</p>
評価人リダ -	<p>ありがとうございました。では続いて次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私の採点ですが、まず時代適合性は4点、補完性は5点としました。基本的には川越市の観光の全体の中の一つのテーマパーク的な施設というふうに考えるべきだと思います。そういった意味で、まつり会館が果たして時代に適合しているかと考えると、多少そぐわない面もあるけれども、今の川越市のニーズには適合しているのではないかなと思うんですね。そのようにトータルで考えて、時代適合性は4点。補完性について、川越市の一つの産業として捉えれば観光は大きな収入源の一つですので、これは市がやるべきことであると考え、5</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>評価人リダー</p>	<p>点にしてあります。効率性について、入館料に関しては非常に頑張っているとは思いますが、やはりリピーターが少ないというのは弱点であって、先ほど申し上げたようにテーマパークとして考えると、新たなイベントを頻繁に催すことが新たなお客さんを呼び、またリピーターを増やすのにつながるかと考えます。いつ行っても同じだと思われてしまうと、どうしてもリピートする人は少なくなってしまいます。そういったことから効率性は3点、有効性は4点としました。あと方針妥当性については、当面は現在のままで入館促進に努めていくということで4点。合計で20点となりました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。では次の評価人の方、お願いします。</p>
<p>外部評価人</p>	<p>はい。私の採点は、上から4点、4点、3点、4点、4点としました。まず時代適合性について、川越市は観光について力を入れているので、観光客の方たちにもそうですし、まちの歴史を伝えるということでは、年間1万人の小学生が学びに来ているということで、役立っているかなと思いますので4点。補完性についても、逆に行政でないとできないものだと思うので、これも4点。ちょっと点数を下げているのは、先ほど他の評価人さんからもありましたが、やらなくても別にいいのかなという気が少ししますので、その分評価が少し低くなりました。それと経費について、どの行政のハコモノを見てもそうなんですけど、ハコをつくってしまうとどうしても経費が掛かってくるのは当たり前で、川越市だけではなくてたぶんどの市でもそうだと思うんですけど、更新をすることは費用が掛かるためなかなか難しいと思いますけれども、明らかに費用が上がるというのがわかっているのであれば、それは改善していくべきだと思います。特に電気代など。そのため、効率性については3点。有効性についても同じなんですけど、こちらは4点。それから方針妥当性についても4点なんですけど、今現在観光客としていらしている来館者が約10万人で、川越市全体の観光客数が約600万人なので、1.5%強ですよ。そう考えると、他市のまつり会館に比べればたぶん相当多い数字にはなっていると思う</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リダ -	<p>んですが、比較する数字自体がそもそも大きいので、もっと多くていいんじゃないかと思うんですね。だから、方針については妥当性がある。ただ、現状も努力はされているのかとは思いますが、もう少し入館者数が伸びてもいいんじゃないかというふうに思うので、ここは4点にさせていただきました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では、最後に私の評価を申し上げます。時代適合性5点、補完性4点、効率性3点、有効性4点、方針妥当性3点となります。つまり、川越市にはぜひあってほしい施設だと私は思っています。そういう意味で、今の川越市には必要な施設であろうと思います。では、そういう施設の運営を行政自ら行う必要があるかといいますと、これについてはなかなか5点は差し上げられないだろうと思います。他市の類似施設では指定管理者を入れたりして、あるいは他の経費削減策もとっているかもしれませんが、いずれにしても「行政自ら」という必要性については、時代適合性よりは低いと思われる。それで、気になったのが効率性です。簡単に言いますと、ゆっくりと構えていらっしゃるといふふうについてよいのでしょうか、あまりあくせくしていないといいますか、おっとりしているといいますか、大名の商売だなという感じがしました。例えばこの間の大震災で、茨城県の地方を走っている電車が、大変やられたそうです。そこで、鉄道マニアの方にお金を払ってもらって、掃除をしてもらうというツアーを企画したら大盛況で、マニアが喜んで来て、立派に清掃して綺麗になって、それに乗って帰るといったイベントがあったそうです。そういう例を見ますと、やはりもう少し戦略的に取り組んでいいのではないかという気がするんですね。例えば電灯一つ取り替えるにも、市民の名前を入れるなど、「この電灯は さんの寄付でつけました」といったようなことをやったらどうですか。もう少し積極的にいろんなことをやっていいと思います。そうしたら自分の家の家族を連れてきたりして、「この電灯は俺が付けたんだ」みたいなことだってあると思いますよ。やはりそんなふうな工夫をして、大勢の人に来てもらえるような策を考</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>評価人リダー</p> <p>事務局</p>	<p>えた方がいいと思います。つまり、もう少し戦略的に考えた方がいいんじゃないかというのが私の感想です。あと、他の評価人の方々からも指摘があったように、こまめにエネルギーの削減等々、着実な努力をしていっていただきたいと思います。場合によっては、市民の皆さんからいろんなアイデアを募集して、それを会館に活かすといったようなこともいいかもしれません。ぜひいろいろと工夫をしていただけたらというふうに思いました。</p> <p>さて、全体の評価ですが、評価人全員の採点結果を合計して 100 点満点に換算すると、66 点となりました。これは「B. 事業の在り方は概ね妥当である」という評価になります。</p> <p>以上で評価を終わります。どうもありがとうございました。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>外部評価人の皆様におかれましては、大変長時間にわたりましていろいろのご意見をいただきありがとうございました。また、傍聴者の皆様におかれましては、ご清聴いただきありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして平成 25 年度第 5 回川越市事業評価外部会議を終了いたします。</p> <p>4 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>